

優しく強い子に！



http://www.minamih.net/
18・10・6(土)
南NEWS no 69

夏の猛暑、秋にかけて台風銀座の日本列島。アメリカやイギリスと東シナ海や日本海で戦争ごっこを練習をしている場合ではありません。戦争は練習でも最大の環境破壊、温暖化を早めます。

by 南のアンパンマン



豪雨

9月26日(水)・27日(木)と八王子は強い雨降りでした。今日明日も対分の影響で強い雨降り。

雨が降っていると(嗚呼、また文化大のグラウンドにグラウンドキャニオンができるなあ！なんとかできないかなあ)といつも想っています。

地震や台風の自然災害がこれでもかこれでもかと繰り返す襲う日本列島。台風が来る度に(復旧も済んでいないあの家の人達はどうなっているんだろう)と心配しています。

下の記事は18・9・28(金)の朝日朝刊の切り抜きです。読めば“地球温暖化絶対止めなければ”と誰もが想うはずです。

気温上昇1.5度に抑えても 豪雨頻発

産業革命以降の気温上昇を1.5度に抑えても世界中で極端な高温が増え、多くの地域で豪雨が頻発する――。こんな予測を、国連気候変動に関する政府間パネル(IPCC)がまとめた。10月に公表する特別報告書の最終草案に盛り込んだ。現状のままでは2040年ごろに1.5度を超えると指摘し、地球温暖化対策の一層の推進を求めた。

最終草案によると、世界の平均気温は昨年時点で産業革命前より1度上昇した。

1.5度上昇した場合、すべての陸地で極端な高温が増え、大部分の地域で豪雨の頻度が高まり、極度の干ばつに見舞われる地域もあると予測。中緯度地域では極端に暑い日の気温が現在より最大で3度上がり、熱帯地域で

は異常に暑い日が増える。海ではサンゴの大部分が消失するという。さらに、2度上昇した場合は、1.5度と比較して、異常気象や海水面の上昇による被害が悪化すると指摘する。

地球温暖化対策の国際ルール「パリ協定」は、気温上昇を2度未満、できれば1.5度までに抑えることを目標にし、それに基づき、各国は温室効果ガスの削減目標を掲げる。

だが、国連環境計画の報告書によると、各国の削減目標を積み上げても、30年時点の温室効果ガス排出量は、1.5度未満に抑えられるレベルよりも160億~190億トンを超過する。最終草案は、1.5度に抑えるには50年ごろの二酸化炭素(CO₂)排出を「実質ゼロ」に減らす必要があるとする。(川村剛志、神田明美)

IPCC報告書 最終草案

何事にも全力で一生懸命

6年生のチカコさんが漢字練習ノートを終えて提出してくれました。全ページ花丸です。印刷して紹介しようと思ったのですが、スキャンしても薄くしか写らないのでやめました。

土日の練習・午後練も決して休まないチカコさん。試合ではトップのポジションで相手DFのボールにスプリントの連続でプレッシャーをかけ、フォアチェックも一生懸命です。そのひたむきさで漢字練習ノートにもしっかりと取り組んでいたのです。

トップのポジションで得点も挙げているチカコさん、努力の人です。6年生の男子全員が見習ったらすごいチームができますね。



F C 東京 v s 清水エスパルス戦を観て

9月29日(土) 味の素スタジアム

試合前のアップではいつものようにGK練習の流れをノートに記録していました。指導に活かしていきます。

試合は前半0-0。後半19分過ぎに試合は動きました。エスパルス左トップ左のドウグラス選手が中央左寄りから強烈なミドルシュート！！そのシュートの跳ね返りを狙ってゴール前に詰めたツートップ右の北川選手にジャンプヘッドの練習をするかのようなボールがF東GKの林選手から跳ね返ってきて、ゴールヘッドンピシヤリ。見事な先制点でした。予測してゴール前に全力で詰めた北川選手の試合を決める得点でした。

矢上は人混みが苦手なので後半15分を残して、スタジアムを後にしたので正確な評価にはならないかも知れませんが、後半開始から30分はエスパルスが終始攻勢でした。私が考えるその要因は、エスパルスが

①サイドのDFが“渡り廊下”で何度もオーバーラップをしていたこと。
②MFが2ライン(DFラインとMFラインの間)・ハーフスペース(ピッチを縦に5等分しアウトサイドレーンと中央レーンの間：インサイドレーン)にポジションを取るトップにくさびを当て、ダイレクトでリターンされたボールを渡り廊下相手DF裏のスペースへロビング。サイドDFが第3の動きで渡り廊下をオーバーラップでクロスを狙う。

等の運動量と積極的な崩しのチャレンジがあるかないかの差が出たのだと思います。ドウグラス選手のボールを受けたら撃とうとシュートを狙っていた、北川選手の跳ね返りを狙った積極的な気持ちが勝敗を分けたのだと思います。

F東の右DF 室屋選手の渡り廊下でのオーバーラップ、ドリブル突破を観たかったのですが、まったく観られませんでした。

トウイ君に

「室屋選手の動き・ドリブルをよく観るといいよ」と言ったのですが、期待外れでした。プロの選手でもその日によって、試合によってできるときとできないときがあるのですね。



私の課題としていた“GKやDFからの落としのパスからの展開・動き”は“ボールを受ける人への確実なサポートの距離・角度：ポジション取りを素早く丁寧にやっているな”という確認ができたことです。

